

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月13日

上場会社名 豊商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8747 URL <http://www.yutaka-shoji.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石黒 文博
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 多々良 孝之 (TEL) 03-3667-5211
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,321	66.1	34	—	73	—	39	—
25年3月期第1四半期	795	△27.1	△277	—	△278	—	△191	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 52百万円(—%) 25年3月期第1四半期 △235百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	4.80	—
25年3月期第1四半期	△23.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	38,456	9,395	24.4
25年3月期	37,108	9,384	25.3

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 9,395百万円 25年3月期 9,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

当社及び当社グループ(以下、「当社」という。)は、下記「3. 平成26年3月期の連結業績予想」における事由により、予想配当金については記載を控えさせていただいております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

当社の主たる事業である商品先物取引業は事業の特性上、営業収益において、商品市場、為替市場及び証券市場等の市場環境の動向により大きく影響を受ける傾向にあります。当社はこのような状況において、業績予想を適正かつ合理的に行うことは非常に困難であることから、業績予想の開示及び公表は、株主及び投資家の皆様の合理的な判断の形成に有用とはいえないと判断されるため、業績予想の開示を控えさせていただいております。それに代えて、決算数値が確定したと考えられる時点で四半期及び通期の業績速報値の開示を実施いたしてまいります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	8,897,472株	25年3月期	8,897,472株
26年3月期1Q	677,232株	25年3月期	677,133株
26年3月期1Q	8,220,306株	25年3月期1Q	8,220,339株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、日本銀行による4月4日の黒田新体制下の金融政策決定会合において「量的・質的金融緩和」、別名「異次元金融緩和」の導入が発表されたことから、景気動向に対し明るい兆しが見え始め、大手企業を中心に株価が上昇するなど、幸先の良いスタートとなりました。一方、世界経済は、米国では改善の兆しが見られるものの、新興国経済の減速感が鮮明になるなど、先行き不透明な状況が続いております。

証券市場においては、日経平均株価指数に代表される取引所株価指数証拠金取引(くりっく株365)はアベノミクスを背景にした景気回復期待感から堅調な推移となりました。4月の「異次元金融緩和」の導入をきっかけに、日経平均株価は15,942円の高値を示現し、その後は調整局面となりましたが、13,000円台で値固めし、再び上昇する動きとなりました。

商品市場においては、原油はニューヨーク原油が米国や中国の弱い経済指標を受けて下落、国内原油市場も軟調な推移となりました。5月に入りますと欧州中央銀行(ECB)の利下げや米国雇用統計の改善を好感し、ニューヨーク原油は95ドルを回復、国内市場は円安・ドル高の流れも支援材料となり概ね堅調な動きとなりました。

金は欧州連合(EU)と国際通貨基金(IMF)からの支援が決まっていたキプロスが、資金調達のため金準備を売却することに合意し、他のユーロ圏の中央銀行も金準備の売却を余儀なくされるとの憶測を呼んだことから、ニューヨーク市場及び国内市場は暴落場面となりました。5月は円安・ドル高に支えられ若干値位置を戻したものの、6月に入りますと米国連邦準備制度理事会(FRB)による量的金融緩和と政策の縮小の思惑が資金流出に拍車をかけ、4,000円割れまで下落しました。

穀物は米国でのトウモロコシ及び大豆の作付面積が大きく増加するとの見通しから急落してスタートしました。しかしその後はトウモロコシの作付遅延から、大豆も作付がずれ込むとの見通しにより反発しましたが、上値はヘッジファンドの売りに抑えられ、4月から6月にかけての天候相場前半においてはレンジ内の動きに終始しました。

為替相場においては、ドル円相場は「異次元金融緩和」を背景に100円手前まで一気に円安・ドル高が進行しました。5月に入りますと米国雇用統計の改善を好感し、円安・ドル高に拍車がかかり103.74円を示現しました。しかし6月のバーナンキFRB議長による量的金融緩和政策の縮小の発言や世界的な株安の流れを受けて、100円を割り込むと一気に円高・ドル安が進行し93.77円まで急落し、軟調な動きとなりました。その後は再び円安・ドル高の動きが強まり、月末にかけては99円台前半まで回復しました。

このような環境のもとで、当社グループの当第1四半期連結累計期間の商品先物取引の総売買高は361千枚(前年同期比26.6%減)及び金融商品取引等の総売買高は803千枚(前年同期比133.2%増)となり、受取手数料は1,177百万円(前年同期比53.7%増)、売買損益は134百万円の利益(前年同期は17百万円の利益)となりました。

なお、取引所株価指数証拠金取引「ゆたかCFD」の管理体制を整え、取り扱い店を6店に拡大し、新規委託者を獲得したことにより、「ゆたかCFD」の総売買高が378千枚(前年同期375千枚増)となり、受取手数料が211百万円(前年同期209百万円増)、売買損益が58百万円の利益(前年同期は0.1百万円の損失)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益1,321百万円(前年同期比66.1%増)、経常利益73百万円(前年同期は278百万円の経常損失)、四半期純利益39百万円(前年同期は191百万円の四半期純損失)となりました。

なお、後記「3. 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に掲記したとおり、当社グループの事業セグメントは、主として商品先物取引の受託及び自己売買、並びに金融商品取引等の受託及び自己売買の金融商品取引業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の資産総額は38,456百万円、負債総額は29,061百万円、純資産は9,395百万円となっております。

当第1四半期連結会計期間の資産総額38,456百万円は前連結会計年度末37,108百万円に比べて1,348百万円増加しております。この内訳は、流動資産が1,344百万円、固定資産が3百万円それぞれ増加したものであり、主に、流動資産「その他」が2,209百万円増加した一方、「保管有価証券」が471百万円、「差入保証金」が576百万円それぞれ減少したことによるものであります。なお、流動資産「その他」の増加の主な内訳は「委託者先物取引差金」2,218百万円となっております。

当第1四半期連結会計期間の負債総額29,061百万円は、前連結会計年度末27,723百万円に比べて1,337百万円増加しております。この内訳は、流動負債が1,355百万円増加し、固定負債が18百万円減少したものであり、主に、「金融商品取引保証金」が1,637百万円増加した一方、「預り証拠金代用有価証券」が471百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間の純資産9,395百万円は前連結会計年度末9,384百万円に比べて10百万円増加しております。この内訳は、その他の包括利益累計額が12百万円増加した一方、株主資本が1百万円減少したことによるものであります。

なお、当第1四半期連結会計期間の自己資本比率は24.4%(前連結会計年度末は25.3%)となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の主たる事業である商品先物取引業は事業の特性上、営業収益において、商品市場、為替市場及び証券市場等の市場環境の動向により大きく影響を受ける傾向にあります。当社はこのような状況において、業績予想を適正かつ合理的に行うことは非常に困難であることから、業績予想の開示及び公表は、株主及び投資家の皆様の合理的な判断の形成に有用とはいえないと判断されるため、業績予想の開示を控えさせていただいております。それに代えて、決算数値が確定したと考えられる時点で四半期及び通期の業績速報値の開示を実施いたしてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,653,208	5,702,431
売掛金	5,092	20,468
委託者未収金	114,949	184,733
有価証券	20,487	18,626
トレーディング商品	42,352	105,573
商品	4,872	2,465
保管有価証券	7,177,218	6,705,832
差入保証金	16,328,333	15,752,243
その他	1,105,665	3,314,872
貸倒引当金	△1,184	△11,431
流動資産合計	30,450,995	31,795,815
固定資産		
有形固定資産	3,956,697	3,931,007
無形固定資産	201,485	206,245
投資その他の資産		
その他	3,146,772	3,226,625
貸倒引当金	△647,915	△703,012
投資その他の資産合計	2,498,856	2,523,612
固定資産合計	6,657,039	6,660,865
資産合計	37,108,035	38,456,681
負債の部		
流動負債		
委託者未払金	1,735,021	1,708,979
短期借入金	1,118,400	863,750
未払法人税等	48,705	29,178
賞与引当金	106,633	23,871
預り証拠金	8,563,355	8,803,859
預り証拠金代用有価証券	7,177,218	6,705,832
金融商品取引保証金	7,354,367	8,991,558
その他	408,420	741,046
流動負債合計	26,512,121	27,868,077
固定負債		
退職給付引当金	670,561	682,990
役員退職慰労引当金	217,230	201,930
訴訟損失引当金	1,820	1,820
その他	174,884	159,492
固定負債合計	1,064,496	1,046,234

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
特別法上の準備金		
商品取引責任準備金	141,782	141,782
金融商品取引責任準備金	5,487	5,487
特別法上の準備金合計	147,270	147,270
負債合計	27,723,888	29,061,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,722,000	1,722,000
資本剰余金	1,104,579	1,104,579
利益剰余金	6,880,409	6,878,765
自己株式	△312,120	△312,145
株主資本合計	9,394,869	9,393,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,809	29,106
為替換算調整勘定	△33,532	△27,207
その他の包括利益累計額合計	△10,722	1,898
純資産合計	9,384,146	9,395,098
負債純資産合計	37,108,035	38,456,681

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業収益		
受取手数料	766,004	1,177,654
売買損益	17,467	134,078
その他	12,278	10,167
営業収益合計	795,751	1,321,899
営業費用		
販売費及び一般管理費	1,073,615	1,287,249
営業費用合計	1,073,615	1,287,249
営業利益又は営業損失(△)	△277,863	34,650
営業外収益		
受取利息	1,352	621
受取配当金	7,818	22,611
貸倒引当金戻入額	37	103
為替差益	—	16,773
その他	3,583	4,315
営業外収益合計	12,791	44,425
営業外費用		
支払利息	5,886	5,151
為替差損	4,778	—
その他	3,073	108
営業外費用合計	13,737	5,259
経常利益又は経常損失(△)	△278,809	73,815
特別利益		
固定資産売却益	1,364	—
特別利益合計	1,364	—
特別損失		
投資有価証券清算損	—	7,954
リース解約損	—	1,627
訴訟損失引当金繰入額	9,200	—
固定資産除売却損	1,120	—
会員権売却損	652	—
特別損失合計	10,972	9,582
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△288,418	64,233
法人税等	△96,657	24,775
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△191,761	39,457
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△191,761	39,457

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△191,761	39,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,776	6,296
為替換算調整勘定	△11,268	6,325
その他の包括利益合計	△44,044	12,621
四半期包括利益	△235,806	52,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△235,806	52,078

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、主として商品先物取引の受託及び自己売買、並びに金融商品取引等の受託及び自己売買の金融商品取引業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。